

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	図書館運営事業	5-10
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	生涯学習部市民図書館	直通電話	72-2000
担当部長	渡邊 斉志	担当課長	丹羽 秀人
		担当者	五東 秀一

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	図書館資料の収集(図書、雑誌、新聞、視聴覚資料等)及び提供 レファレンスサービスの実施 特集コーナー、特別展示の実施 土/日/祝日開館及び夜間開館(水/木は午後8時まで 本館のみ) 図書館施設維持管理 分館の設置(花川南、八幡、厚田、浜益)		
(2)事業開始年度	平成13年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち	
	施策項目(大)	(1)生涯学習の推進	
	施策項目(小)	学習機会の整備・充実	
	施策コード	50102	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	生涯学習及び地域文化の創造の重要な拠点となる。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	多くの資料と多くの利用者を結ぶ。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	市民のニーズに応じた資料を収集し、レファレンスサービスや特集展示を実施する。また、土/日/祝日開館や、夜間開館を行う。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	・レファレンスサービス向上のため、司書研修の開催頻度を高めた。・ニュースを反映させ即時性の高いミニ特集展示の開催。
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	
(6)事業の立案や実施における協働の視点	石狩市民図書館協議会を設置し、意見、提言等を受けている。

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	99,240	100,439	90,636	87,692
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	34,614	33,223	35,974	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	133,854	133,662	126,610	
事務に従事した正職員延べ人数	4.01	4.01	4.01	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)												
収入	区分	H17	H18	H19	H20予算	支出	区分	H17	H18	H19	H20予算	
	市補助金等(A)											
	計(B)	0	0	0	0			計	0	0	0	0
(A/B)												

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
本の受入冊数(全館分) (冊) (「本」には雑誌、視聴覚資料等も含む)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	36,169	15,003	9,677	
	達成率	-	-	-	
開館日数(本館) (日)	目標値	278	276	276	284
	実績値	278	276	276	
	達成率	100.0	100.0	100.0	
図書館協議会の開催(回)	目標値	2	3	3	3
	実績値	4	3	3	
	達成率	200.0	100.0	100.0	

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
本の貸出冊数(全館分) (冊) (「本」には雑誌、視聴覚資料等も含む)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	595,970	570,640	553,705	
	達成率	-	-	-	
図書館登録者数 (人)	目標値	未設定	39,890	43,081	46,096
	実績値	36,596	40,071	43,335	
	達成率	-	100.5	100.6	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない	1
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2
(2) 効率性		ウ 事業内容	
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い	2
(3) 公平性		(1)~(4)の評価ポイント合計	
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	総合評価の参考にしてください。	
		7~11	A or B
		12~15	B or C
		16~21	D or E
		11	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		図書費削減で厳しい中、貸出冊数が減少しているが、約2%の減と最低限に抑えることができた。また、資料/情報提供の工夫を重ねた結果、登録者数の増加などの成果をあげることができた。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	(2) 今後の方向性・課題	
		図書館は単なる読書だけではなく、市民の様々な課題解決等の情報提供施設としての機能が求められており、新鮮な資料構成の維持が課題である。平成20年度に花川北分館を廃止。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		課長評価を了承する。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	(2) 今後の方向性・課題	
		図書館資料の充実が引き続き非常に重要な課題であることは当然であるが、それと同時に、事業目的達成のために図書館がどのように機能しうるかについて検討する必要がある。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
	利用者サービスを着実に実施するとともに、図書館の今後のあり方についての検討を深める。		